

# 急性中耳炎

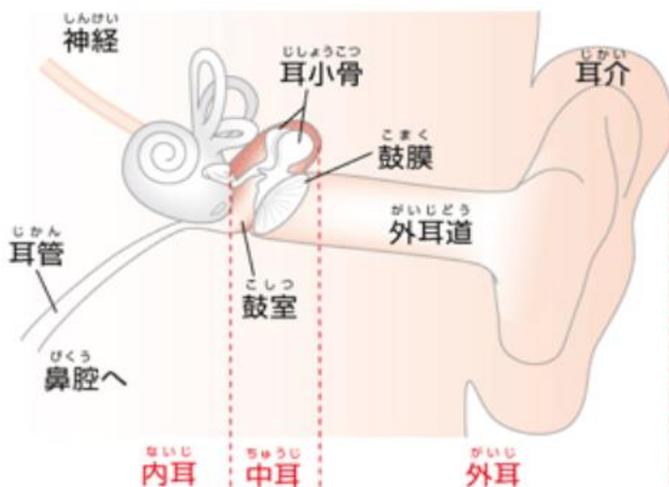


子ども達に「勇気、夢として笑顔」を

## 急性中耳炎とは

鼓膜の奥にある中耳という部分に急激な炎症が起こり、耳の痛みや発熱を引き起こす病気で、子どもは大人に比べ耳管(鼻と耳をつないでいる管)が太く短いためかかりやすく、6カ月～2歳児によく起こります。

鼻やのどがウイルスに感染して炎症を起こし、その結果増殖した細菌が、耳管を通して中耳に侵入することが原因となります。



## 症状

耳痛や耳だれ、耳閉感、発熱などの症状が現れます。

痛みを自分で訴えられない乳幼児では、機嫌が悪くなったり、耳を触るようなしぐさが見られたりします。

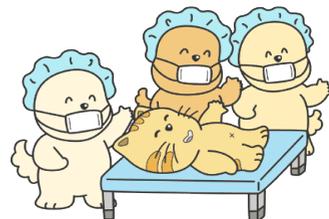


## 治療

重症度に応じて治療法が異なります。軽症であればそのまま様子をみますが、長引いたり中等症であったりする場合は、抗生剤を使用します。



抗生剤が効かない場合や重症であれば、鼓膜切開を行います。



## 日常生活で注意することは…

2歳未満や、集団保育、母乳期間が短いお子さんでは中耳炎が重症化しやすいです。日頃から鼻やのどの症状がある場合は早めに対処することが重要です。

肺炎球菌結合型ワクチンで急性中耳炎の重症化や低年齢での発症を予防する可能性がありますので、早めのワクチン接種をお勧めします。

耳だれが出ている場合や鼓膜切開した後は、洗髪は可能ですが、耳の中に浴槽の水などが入らないように気を付けて下さい。耳の入り口に耳だれが付着していれば、見える範囲を清潔なガーゼなどでこまめに清拭してください。

地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪母子医療センター

<耳鼻咽喉科>

〒594-1101 大阪府和泉市室堂町 840

患者支援センター TEL 0725-56-1220

FAX 0725-56-5605